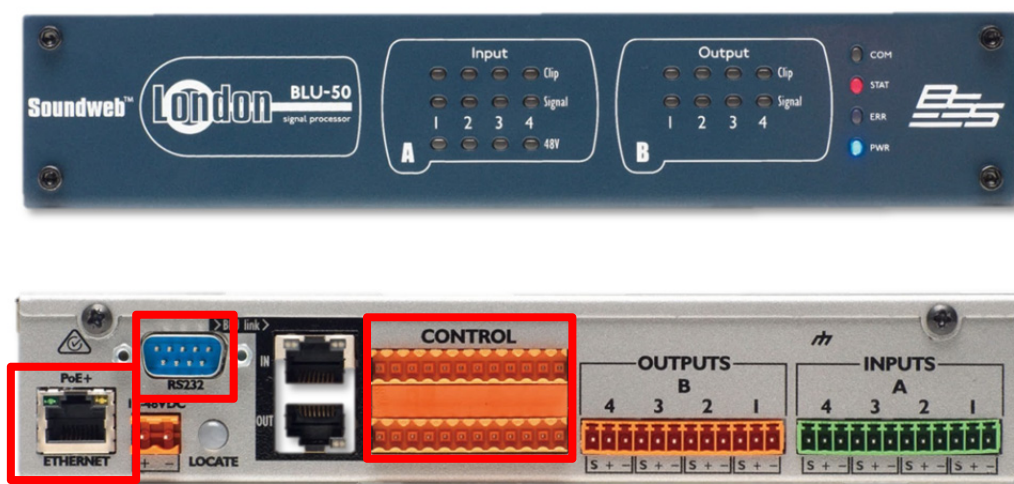


## GPIO、サードパーティー機器から複数台の BLU を操作する方法

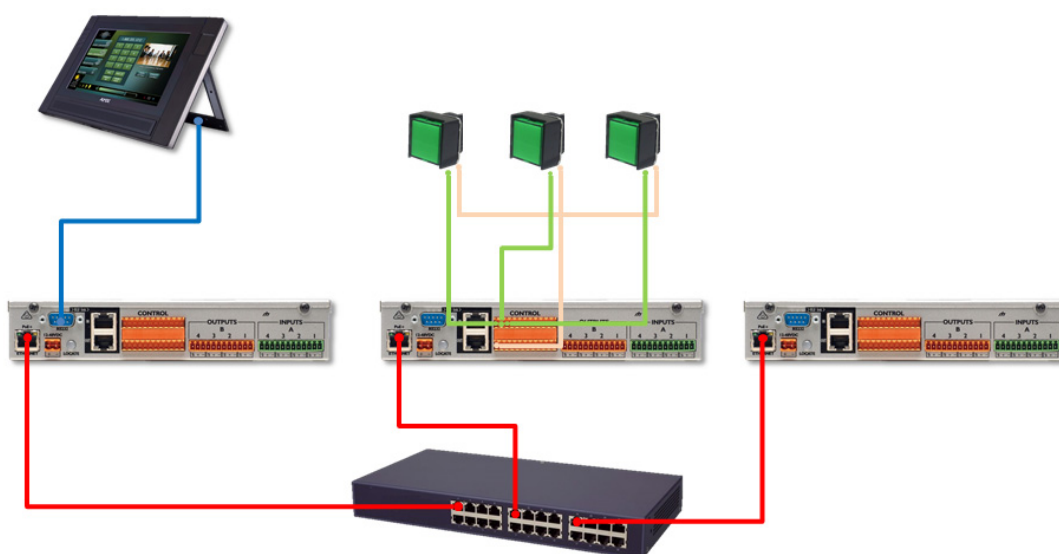
BLU 機器が複数台ある場合、特定の1台に GPIO やサードパーティー機器 (RS232C) を接続してほかの機器を制御することができます。

### 注意

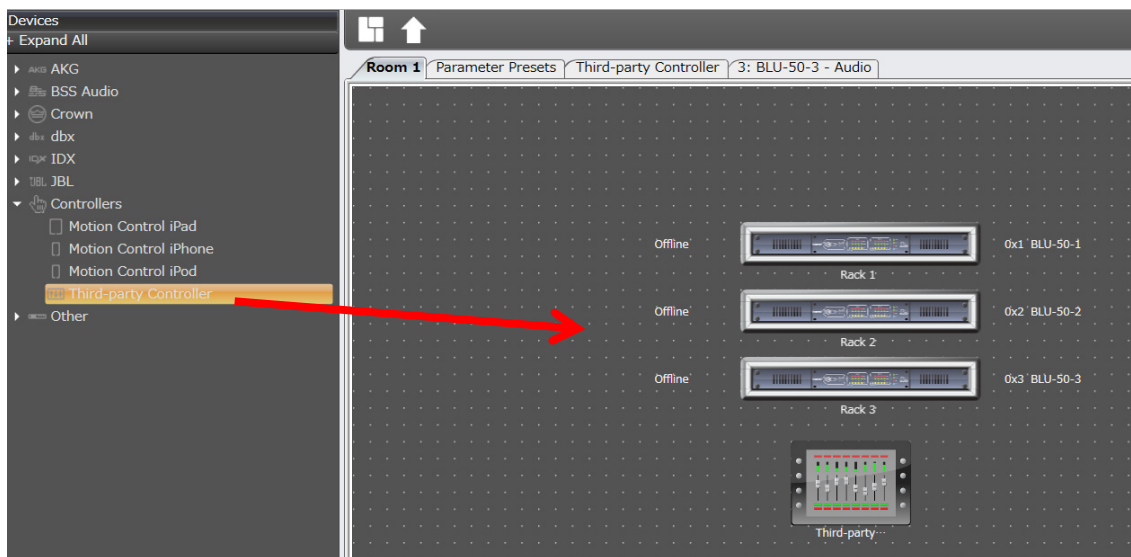
制御したいすべての BLU 機器の ETHERTNET ポートをスイッチで接続してください。



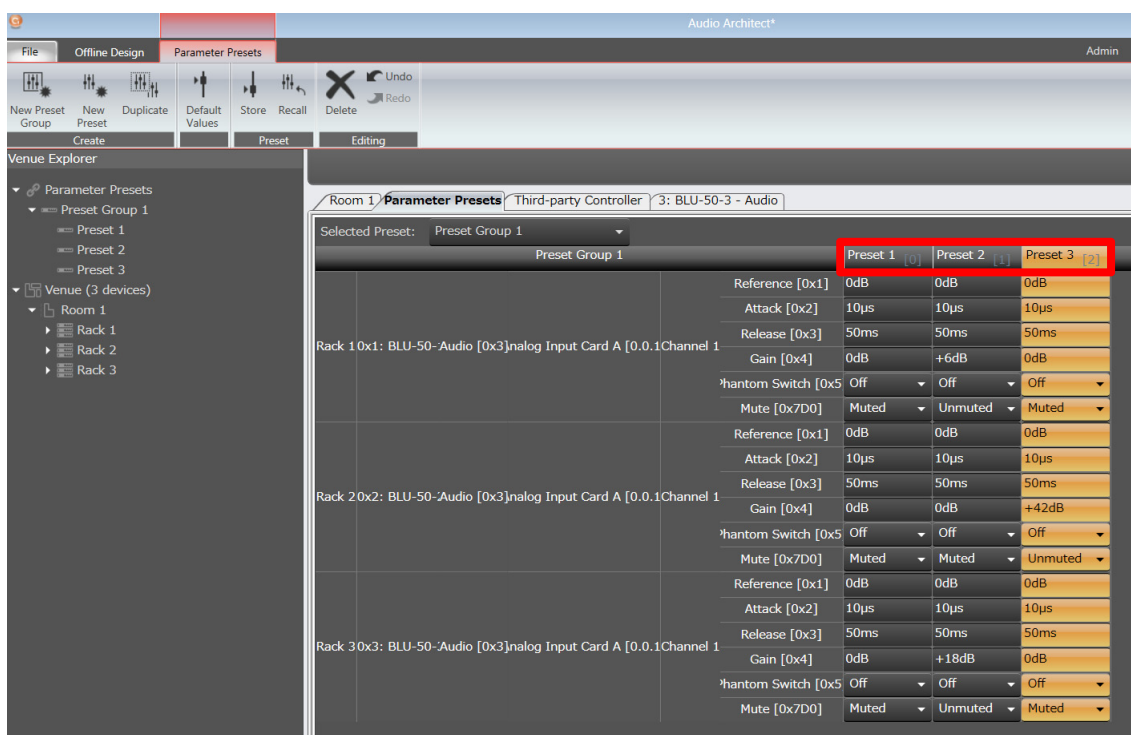
例として、3台の BLU-50 のプリセットを GPI 経由のボタンとサードパーティー制御機器から切替します。



## ① BLU50 を 3 台とサードパーティーコントローラーを配置します。

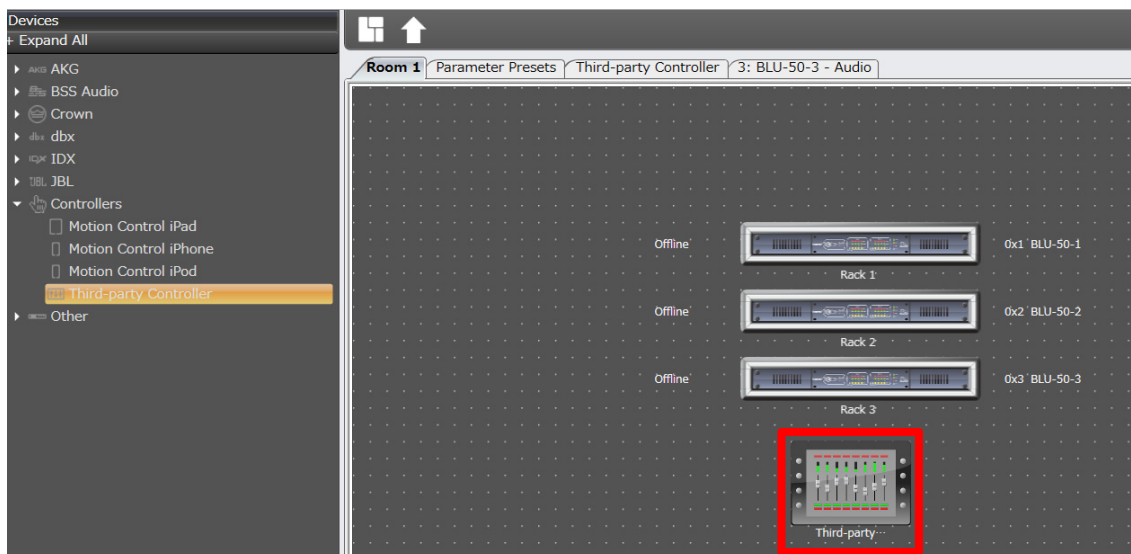


## ② パラメータープリセットを作成します

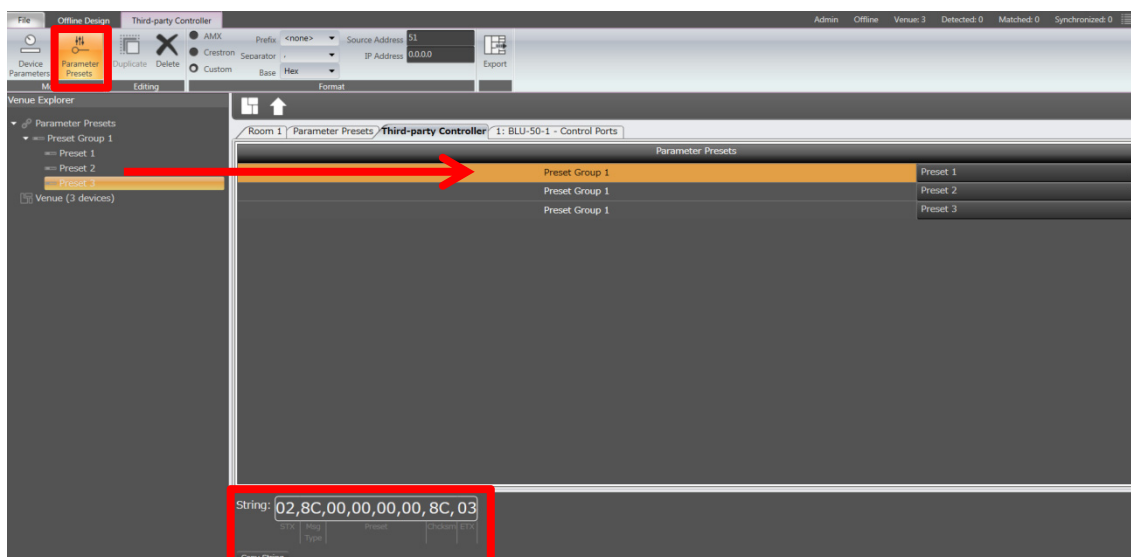


例として各 BLU-50 のアナログ入力 CH1 のゲインをプリセットとします。

## ③ サードパーティーコントローラーを開きます。



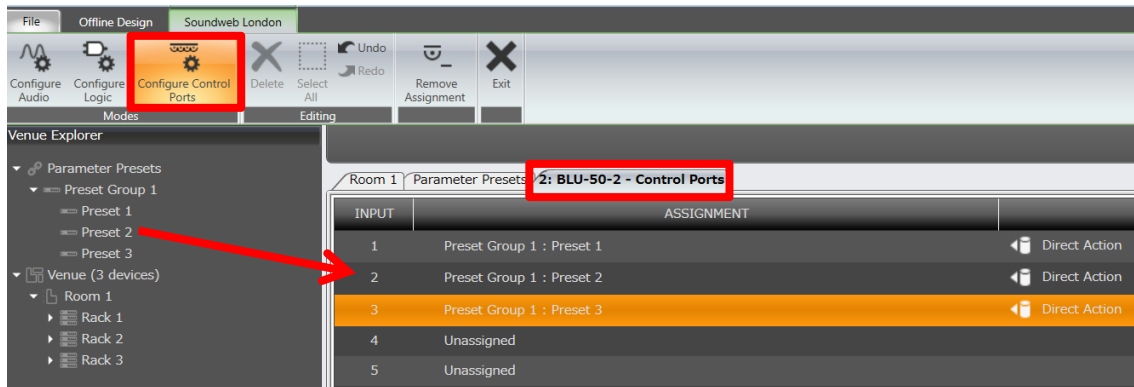
パラメータを選択し、STRING 値を確認します。



サードパーティーコントローラーのリボン上にある「Parameter Presets」アイコンを押下し、左手 Venue Explorer 上にあるプリセットを右手ヘドラッグ&ドロップします。各プリセットを選択すると、STRINGS 値が下のプロパティエリアに表示されます。

表示された STRINGS 値をサードパーティー制御機器から RS232C 経由で、特定の BLU-50 1 台へ投げると、ETHERNET 経由でほかの BLU-50 へもプリセット制御信号が流れます。

## ④ BLU50-1 (2 台目) の GPI ヘパラメータープリセットをアサインします。



2 台目の BLU-50 の「Configure Control Ports」アイコンを押下し、GPI ヘプリセットをドラック&ドロップでアサインします。

GPI 「1」「2」「3」に接続したスイッチでプリセットを呼び出すと、ETHERNET 経由でほかの BLU-50 ヘプリセット制御信号が流れます。